

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R3 -22
②	研究課題名	日常臨床において自己評価表を用いた行動療法は夜間頻尿を改善させるか
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	済生会小樽病院において治療を受けられた方の夜間頻尿に対する実臨床での自己評価表を用いた認知行動療法の治療効果について調べる事が目的です。当院内で集計後共同研究機関の札幌医科大学で集約します。個人情報提供しません。
④	利用または提供する情報の項目	患者基本情報：(行動療法開始時と終了時の)日付、年齢、泌尿器科並存症、他の泌尿器科薬の処方情報 行動療法前後の質問紙 (IPSS,OABSS)記載項目 行動療法終了後の自己評価表記載項目
⑤	対象者及び対象期間	2021年5月1日から2022年2月28日までの間に夜間頻尿と診断され、済生会小樽病院において、自己評価表を用いた認知行動療法を1か月間実施した患者さんです。
⑥	利用の範囲	研究成果は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表します。研究の目的以外に、研究で得られた被験者のデータは使用しません。
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【副院長 堀田 浩貴】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。